

第5回審議会（粗大ごみ）での主なご意見・ご質問

1 審議会でのご意見・ご質問

項目	ご質問
粗大ごみ増加の要因	<ul style="list-style-type: none"> ○家電・寝具・家電など分類ごとの傾向は分かるか。 ○世帯・人口動態の傾向など、さらに分析が必要。多摩地域の他市ではどのような分析をしているかを抑えることも必要では。 ○粗大ごみ回収の申込時などに、なぜ不要になったかを聞くようにして情報を取れないか。 ○粗大ごみの品目別データや排出者の世帯構成などの情報が取れば、粗大ごみ増加要因を探れるのではないか。
粗大ごみの質的变化について	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルショップでは二トリの家具は引き取れないと言われたことがある。 ○多摩ニュータウン環境組合のエコにこセンターでも、「売れる物」が少なくなる状況にある。一方、個人間のやり取りであれば、カラーボックスやパーティクルボードなど量販店で売っているような物でもやり取りできる部分があるのではないか。 ○粗大ごみ収集の現場でも使えないものが増えてきたという実感はある。
自転車について	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車のリユースを早く進めてほしい。 ○自転車のリユースは自転車販売店の販売を阻害しないよう、販売店をきちんとかませ市民に提供する仕組みを考えるべき。シルバー人材センターなどに委託している自治体もあるが、盗難車を販売してしまった事例もある。
市民への情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> ○市での粗大ごみの処理や再生についての動画の再生回数が少ない。より多くの人に届くような検討が必要ではないか。 ○利再来留館の取扱中品目のリストがないのは不便。 ○子育て世代は、小まめに家電や家具などを必要とするので、利再来留館やジモティーなどの情報がネットで簡単に入手できると良い。

項目	ご質問
	<p>自転車の利用も含め、若い世代や単身世代も多分罪悪感を持ちながらごみを捨てている。コミュニケーションをどう取れば良いのかが課題。</p> <p>○ごみ収集車にもポスターを貼るなども市民へのアナウンスになるのではないかと。</p>
粗大ごみの名称について	<p>○「粗大ごみ」という言い方ではなく、粗大資源など言い方を変えていけば排出時の意識も変わるのではないかと。リサイクルショップも増えており、単身者の引っ越し時のリユース等に市も協力して誘導できないかと。</p> <p>○粗大ごみではなく「リサイクルファニチャー」といった名称でイメージアップできないかと。</p>
リユースショップやネットの利用促進について	<p>○自宅にも、不用品を引き取る旨の営業電話が良く来るが、少し怖くて乗れない。市で安全面のオーソライズができないかと。</p> <p>○利再来留館も閉鎖中なので、市が自らジモティーに出品し、現物はクリーンセンターに展示できないかと。</p> <p>○ジモティーだけではなく、地場でできる人があれば、合わせて活性化していくことも必要。</p>

2 審議会後に提出いただいたもの

	ご意見
民間リユース、不用品交換の促進	<p>○ネットを利用した不用品交換は素晴らしいが、市外から不用品が流入し、廃棄されることも懸念されるので、市民限定のサービスを提供できないか。</p> <p>○「譲りたい」「使いたい」という情報を市がまとめて提供できると良い。</p> <p>○地域・コミュニティでの再生品販売会等をシステムティックに開催できる仕組みを作り上げる。まず公民館等を利用してモデル地区で試行する。</p> <p>○ジモティーとの連携強化、民間のノウハウの活用</p> <p>○市内のリユースショップに粗大ごみの情報を共有（リサイクルセンターに現物を見に来てもらうなど）し、リユース可能なものを譲り渡してはどうか。</p> <p>○ジモティーとの連携を活用し、市がリサイクル品をジモティーに出品してはどうか。</p>
市民への普及啓発	<p>○粗大ごみの名称変更や単身層・若年ファミリー層と高齢者の交流の場づくり</p> <p>○粗大ごみの名称を変更することには賛成。</p> <p>○粗大ごみ処理現場の情報、再生品のリスト化、粗大ごみ・プラの急増の情報などの発信の徹底</p> <p>○ごみカレンダー・ごみ分別シールを刷新し、粗大ごみ問題の協力を仰ぐ</p>
情報収集・分析について	<p>○粗大ごみの処理状況（品目毎の処理数など）や排出者の情報などを収集、分析してはどうか。</p> <p>○昨今のインフレ傾向からすると、今年は家電・家具などの買い換えが減り、粗大ごみの排出が減るかもしれない。</p> <p>○粗大ごみ収集の際、「まだ使えるかどうか」などを聞けると良いのでは。申込時に「捨てる理由アンケート」を取るのも情報収集方法として有効</p> <p>○粕江市の伸び率が大きいのはなぜか。二つ塚処分場との関係づくりは考えなくて良いか。粗大ごみの処理手数料の設定根拠はどこから来るのか。</p>
自転車の再利用について	<p>○自転車の再利用も関係者の連携・協力を密にして取り組めないか。</p>
全般的な意見	<p>○ライフスタイルそのものに関わるので、リデュース・排出抑制よりも再生利用と安全な廃棄を追求することが重要と感ずる。</p>